



推進費の中でやりくりをしていきたい。

草間議員：区独自の取組が求められているので、都筑区の新型コロナ対策として、必要な部分を大胆にやってもらいたい。

望月議員：今年度の予算執行については、無理せず、当初予算にこだわらない方がよいと考える。

#### 【都筑区に係る予算のすがた】

藤居議員：区配予算について、子育て支援の民間保育所運営の予算が0円となっていることについて伺いたい。

齋藤こども家庭支援課学校連携・こども担当課長：民間保育所運営に関しては、一時保育等実施をしているが、こども青少年局の事業費で直接予算を執行しているため、区配予算としては、0円という記載となっている。

#### 【妊娠期から学齢期までの切れ目のない子育て支援事業】

草間議員：乳幼児健診事業などは今後どうなっていくのか伺いたい。

林福祉保健センター長：乳幼児健診については、7月から再開する。休止により受けられなかった方は、市と契約したクリニックで個別に受診していただく。健診時に保護者から相談を受けて、行政がフォローするような事業についても、丁寧に対応していきたい。

藤居議員：新型コロナの影響で虐待関係が増えていると聞いているが、都筑区の現状を伺いたい。予算は足りているのか。

森長こども家庭支援課長：区では、福祉保健センター内の業務、特に、乳幼児健診等で虐待の恐れを把握し、虐待に繋がりそうなものやその予備軍を見出し、フォローに繋げることが多い。年齢は、0歳から6歳くらいまでの割合が多く、ネグレクトが6割ほどという特徴がある。予算については、虐待を予防するために、養育にうまく対応できていない保護者に対して、訪問員や相談員が継続的な養育支援を行うための予算を組んでいる。

藤居議員：予算が足りなかったり、行き届かなかつたりすれば、支援したいので、伝えてほしい。

#### 【つづき健康づくりサポート事業（都筑区健康アクション!）】

藤居議員：新規事業の健康体操イベントについて、詳しく伺いたい。

山本福祉保健課長：区民を対象とした健康体操イベントを実施し、日頃、運動習慣がない方でも気軽に実践できる内容で、健康に関心を

持ってもらうきっかけづくりということで考えている。実施時期はこれから調整する。

**【街のにぎわいづくり事業】**

望月議員：都筑区民まつりは実施予定とのことだが、実施可否の判断をいつするのか伺いたい。

中野区長：3月頃から、自治会町内会や各関係団体の方々と意見交換をしてきた。これまでと同様の規模で開催することは難しいとする意見が多い一方で、未来に向けた活動をしていくべきではないかとの意見もある。実施の可否については、6月末のふるさとづくり委員会総会で決定される予定であるが、内容としては、これまでセンター北とセンター南の全域でやっていた規模を縮小し、三密にならないように工夫しながら、センター南のみで開催し、そして、多くの協賛金の協力をいただいで実施している経緯があるが、今年度は、協賛金をいただくことを見送り、出店料のみで運営できる規模で縮小開催する見込みである。

望月議員：実施する場合にも慎重に行い、クラスターが起らないような形で、地域の方々のご意見を伺ってほしい。

**【災害にそなえる自助・共助の推進事業／危機管理対策推進事業】**

草間議員：昨年大雨を受けて、危機管理室が市の風水害対策マニュアルを作った。18区でもマニュアルを作るという話があるが、都筑区のものではできたのか伺いたい。

金指総務課長：市のマニュアルは5月に完成した。これを受けて、区の運営マニュアルを鋭意作成中である。

草間議員：様々な課題や意見をいただいていると思うので、鶴見川水系にあったマニュアルを作ってほしい。

望月議員：これから地震や豪雨により避難所を開設する機会が増えると思う。新型コロナのために対応を変える必要があると思うが、考えを伺いたい。

金指総務課長：昨年の台風15号・19号を経験し、水害対策に課題がある中で、新型コロナ対策が加わった。水害対策の方向性は、三密を避けることを根本に置きながら、災害時に自宅で安全を確保できる場合は在宅避難もぜひ考えてほしいということや、行政が開設する避難所だけでなく、親戚や友人の家など自助による避難先の確保を検討していただくこと、さらに、避難所に持参

する非常持ち出し品に、マスクや体温計などご自身の健康管理の用品を含めていただくような啓発をすることを考えている。また、避難所の開設時に、これまで主に体育館を提供していたが、具合の悪い方は別のスペースに避難できるよう調整をしている。加えて、避難所に到着した段階で、検温等で健康チェックをできるように、区で非接触型体温計を購入した。さらに、マスクやアルコール消毒剤など、感染症対策品等を順次用意している。

望月議員：医者や看護師のバックアップはあるのか伺いたい。

金指総務課長：実際に医師が常駐することはないため、医療調整班と連携して対応していく。

望月議員：マニュアルがきちんと決められていないと、地域防災拠点運営委員会も対応に困るため、事前にどうするのかを区として決めて周知してほしい。

草間議員：先ほど話に出た、非接触型体温計を購入できる予算はどこにあるのか伺いたい。

金指総務課長：区づくり推進費の自主企画事業費のうち、防災・危機管理対策事業を活用している。

草間議員：イベントがほとんど中止になったお金で必要なものを買ひ、必要なところに配ることは、税金の使い方としても極めて妥当である。今後も積極的に行うべき。

斎藤議員：6月27日の水防訓練は、新型コロナ対策を工夫し、感染症時の在り方など今後の検討に繋がるような考え・捉え方をして実施してほしい。

**【環境にやさしいまち推進事業】**

望月議員：ごみの集積場所のネットやかごが適正に利用されていないところがあると聞く。把握状況を伺いたい。

高津地域振興課資源化推進担当課長：正しく使われているところがほとんどと把握している。使われていないところがあれば教えていただきたい。

望月議員：後ほど資料を提供する。

備 考